

# 議会だより

福島県中島村議会

## ひとついただき ま〜す

1月12日開催

団子さし

世代間交流教室 (クラウン大学・児童クラブ・  
アルカディア・子ども教室)

- ◆ 12月定例会・補正予算・・・・・・・・・・・・・・・・2～3
- ◆ 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・4～6
- ◆ フォトニュース・・・・・・・・・・・・・・・・7
- ◆ 議員研修・・・・・・・・・・・・・・・・8～9
- ◆ 住民の声「18歳選挙」・・・・・・・・・・・・10



なかじろうさん

# 10億円を積立

一般会計補正予算

約14億4千万円追加

総額

59億307万円



## 平成30年 第4回定例会

### 12月定例会 のあらまし

平成30年第4回定例会は、12月7日から12月12日までの6日間の会期で開催されました。

第1日目に議長より閉会中の関係事項報告、総務教育常任委員会より議員派遣の報告の後、村長より行政報告がされ、さらに補正予算提案理由の説明が行われました。その後、中島村教育委員会委員の任命同意について審議し、原案通り可決しました。

第2日目には、3議員が一般質問を行いそれぞれ村政をただしました。その後、条例改正5件を審議し原案通り可決しました。

第3日目は、工事請負変更契約締結、一般・特別会計補正予算を審議し11議案を原案通り可決し、さらに追加提案された発委1件、議会の閉会中の継続調査申出について審議し原案どおり可決し、閉会しました。

#### ■一般会計の主な補正予算項目（万円未満切り捨て）

| 項目    | 補正額       | 補正の理由                  |
|-------|-----------|------------------------|
| 地方交付税 | 2,796万円   | 震災復興特別交付税が増額となったため     |
| 寄付金   | 3億5,300万円 | ふるさと納税寄付金の増額のため        |
| 繰入金   | 9億495万円   | 介護保険特別会計、財政調整基金より繰入のため |
| 繰越金   | 1億5,398万円 | 前年度繰越金                 |

| 項目  | 補正額        | 補正の理由                                   |
|-----|------------|---|
| 総務費 | 14億5,208万円 | 公共施設等整備基金積立、ふるさと納税関連業務委託金、ふるさと納税基金積立のため |
| 民生費 | 410万円      | 国民年金システム改修費、介護給付費・訓練等給付費等増額のため          |
| 衛生費 | ▲235万円     | 簡易水道特別会計繰出金減額のため                        |
| 教育費 | ▲1,362万円   | 幼稚園工事請負費減額のため                           |

# 公共施設等整備基金

## 人事案件に同意



中島村教育委員会  
委員

おさだ とみお  
長田 富雄さん（再任）

任期：3年  
町畑地区在住

滑津原地区農業集落排水処理施設機能強化工事請負変更契約の締結について可決  
変更額664万円  
(増額)

8月29日第2回臨時会において議決された  
同工事について、機械設備及び電気設備に変更が生じたため、11月14日に仮契約が締結さ

れました。  
地方自治法の定めにより、議会の同意が求められ、原案のとおり同意されました。



▲老朽化に伴う新築計画が進められている給食センター

## 各特別会計 原案通り可決

(万円未満切り捨て)

| 会計         | 補正額              |
|------------|------------------|
| 国民健康保険     | 4,049万円          |
| 簡易水道       | 3万円              |
| 土地造成事業     | 0円(予備費より事業費への補正) |
| 農業集落排水処理事業 | 6万円              |
| 墓地         | 89万円             |
| 介護保険       | 4,827万円          |
| 後期高齢者医療    | 20万円             |

## 条例一部改正3件

### 新規基金条例2件を可決

- 議会議員の議員報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
  - 村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
  - 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
  - 中島村ふるさと納税基金条例
  - 中島村公共施設等整備基金条例
- それぞれ平成30年人事院・県人事委員会勧告に基づき改正されるもので、原案のとおり可決された。
- ふるさと納税寄付金を適正に管理運営するため、設置するものため、原案のとおり可決された。
- 公共施設等の計画的な整備及び維持、補修等に要する資金を積み立てるもので、原案のとおり可決された。



小室重克 議員

# 早急に住民要望に取り組むべき

## 村長 あなたの意見が行動の原点

村への要望は  
どう生かされ  
たのか・

議会広報で「住民の声」を掲載しています。が、要望について対応し、「声」に答えていくべきと考えます。次の7点について村の見解をお尋ねします。

**問** 村出身である大学生への給付型の奨学金制度を設ける考えはあるか。

**答** 教育長

現在のところ創設の予定はございません。国の動向や近隣町村の取組みを注視しながら検討していきたい。

**問** 若い就農者への支援金、若者が集う組織について事業を進める考えはあるか。

**答** 村長

認定農業者協議会、経営改善支援制度、新たに設けた人材育成事

業の活用をおとして若い就農者への支援を積極的に進めたいと考えている。

**問** ノーマライゼーション（障がい者が平等に生活できる社会）を推進するため講演会等の開催計画はあるか。

**答** 村長

講演会等も含め、多様な場面で趣旨を周知、啓蒙し意識を醸成していきたいと考えている。

**問** 水道管（石綿管）の老朽化が懸念されていますが、不安解消のためのPR及び漏水対策についてお尋ねします。

**答** 村長

先の東日本大震災時においても石綿管の漏水箇所は見られません

でした。厚生労働省健康局水道課より、石綿管を使用した水道水について、健康への影響はないという通達があります。村では安全であるとの観点から特にPR活動は行っておりません。

**問** 道路整備後の維持管理対応と大型農業機械時代に対処した道路拡張整備の考えはあるか。

**答** 村長

定期的なパトロールを実施し、道路補修や法面補修を行っております。

大型農業機械時代に対処した農道整備は、現段階では計画の検討に至っていません。

**問** すべての村民が住みやすい村になるため、高校生・大学生・高齢者介護の保護者等に対し、経済的負担軽減対策を考えているか。

**答** 村長

すべての村民が住みやすい村になるため、高校生・大学生・高齢者介護の保護者等に対し、経済的負担軽減対策を考えているか。

**答** 村長  
限りある財源の中で、公共の福祉の精神にたち、弱者支援を基本に据え、支援して行きたいと考えています。

**問** 原山地区で側溝に落ち葉がつまり、苦慮しています。蓋掛けが必要ではないかと思えますが考えはあるか。

**答** 村長

原山地区の蓋かけについては、安全対策としての要望は承知しておりますが、落ち葉対策面からの要望はございません。

確認の上必要であれば、安全対策と同様に検討してまいりたいと考えています。

**問** 児童館「輝らキッズ」がオープン

児童館「輝らキッズ」がオープン

たしました。その中で特に力を入れて来たのが学習支援（学力向上）と記憶しておりますが、どの様な成果が出ているか、また目標についてお尋ねします。さらに、以前お尋ねした生涯学習センター内の相談室、事務室等の増築計画について、現在ほどの様に考えているか伺う。

**答** 教育長

学校との連携により小学生及び中学生を対象に学習会を柱とした学習支援を実施しております。宿題中心の学習支援、長期休業日活用の学習支援、土曜日活用の学習支援を実施しており、今後も連携を図りながら進めてまいります。相談室・事務室増築は現在も増改築等の予定はございません。

# 早期に中学校前道路拡張を

**村長** 必要性は十分理解している

急ぎ中学校前道路の  
拡充を

**問** 今回、地権者と

近隣土地所有者の合意により、中島郵便局前に新たにコンビニエ



鈴木新平 議員

今が事業を進めるときではないか・

ストアの建設が進んでおり、今後さらに付近の人員の往来が増えると思われる。

交通事故防止のため、中学校前の道路拡張を早期に進めるべきと考えますが、村はどのように考えているか。

**答** 村長

中学校前の道路幅幅については同議員より以前にも尋ねられており、必要性は理解できるものの土地が整備検討する状況に至っていないとお答えしておりました。

鈴木議員のお尋ねのとおり、それらの条件

ならば保育期間の延長を

が整いましたら、事業に向け検討してまいりたいと考えています。

**問**

育児休業終了後、保育所に入所する場合「ならば保育」の期間を延長し、2週間程度にできないか。

保護者が安心して育児休業を終えて復職できるよう、準備の時間が必要と思われるか。

村はどの様に考えているか。

**答** 村長

ならば保育は、子どもが入所し時間を段階



▲中学校前道路

的に増やしながら慣れてくことで、ストレスを軽減させ負担を少なくすることを目的としています。本村では、基本的に5日間をめどに実施しておりますが、現在までのところ、その期間で慣れて来ている状況にあります。

子供の状況により、「ならば保育」期間を増減することは、一定期間の範囲内で不可能ではないと思われ

ます。安心安全のために

**答** 村長

も、保育所入口の所へ防犯灯を設置できないか、村の考えを伺う。

保育所周辺の防犯灯設置についてでありませんが、保育所内の事故防止や、安心・安全の確保のためにも、次年度に向け検討してまいりたいと考えています。

◀保育所前





椎名康夫 議員

制度改正で  
役割はどう  
変わるのか？

# 農業委員会と村はどう連携するのか

## 村長 新制度の基、連携を深める

両者協調しさらに農業の振興を

### 問

平成30年今年の農業を振り返りますと、本当に大変でした。

夏の異常な高温、9月の曇天、長雨、大型台風の接近、これらによる野菜等への大打撃、米の減収。

村の基幹産業である農業も、年々農業従事者の高齢化や後継者不足により、弱体化が進み大変憂慮される事態であると感じており、耕作放棄地も益々増加するのではと危惧しております。

本年度は法改正により新しい農業委員が村長より任命されました。

また、農地利用最適化推進委員も新設されました。大いに期待されるところです。

村としては、新しい

## 一般質問

農業委員の皆様と今後どの様に連携していくのか。

現在村内の耕作放棄地等の面積はどの位確認されているのかお伺いします。

### 答 村長

平成30年9月23日から新制度の農業委員会に移行しました。

新制度に移行した農業委員会に求められる最大の役割、必須業務として「農地利用の最適化の推進」が明確に位置づけられております。

大きく3つに分類され、  
1つ目は、担い手への農地集積集約化。  
2つ目は、遊休農地の発生防止。  
3つ目に、新規参入の促進。  
があげられます。  
そのため、11月の農

## 農地利用最適化推進委員とは

農地等の利用の最適化推進に取り組む体制を強化するため、熱意と見識を有する者のうちから、農業委員会が農地利用最適化推進委員を委嘱しました。

農業委員会総会で、求めに応じ担当地区における活動報告や、意見を述べます。

## 農地等の利用の最適化推進とは

**1 農業経営の規模の拡大、耕作の事業に供される農地等の集団化**  
→ 担い手への農地利用の集積の推進

**2 農地等として利用すべき土地の農業上の利用の確保**  
→ 耕作放棄地の発生防止、解消の推進

**3 農業への新たに農業経営を営もうとする者の参入の促進**  
→ 新規就農、企業等の農業参入の支援

業委員総会において、中島村農業委員「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」が定められました。

また、農地利用最適化推進委員が新設され、各担当地区で現場活動を行います。

村でも、農地流動化推進助成金交付事業を継続し、農業委員会と連携を密接にし、農地利用が効率的、効果的

す。ここ数年の推移を見ますと、この面積に大きな変化はございません。



▲耕作放棄地



1



2



3



4



5

1/5

# 69人が新成人に...

平成最後の成人式が、生涯学習センターで挙行されました。平成10年4月2日〜平成11年4月1日までに生まれた69人の新成人たちが大人の自覚を胸

に新たな一歩を踏み出しました。皆様のご活躍をお祈りいたします。



①③記念にみんなで②式典の様子④受付ご苦労様⑤記念写真撮影中

2月3日(日)午前10時から、生涯学習センターにおいて四穂田古墳出土品レプリカ完成披露及びこれを記念して、福島県立博物館の主任学芸員による特別解説が行われました。

平成23年に吉岡地区で古墳時代の日本最北ともなる短甲・太刀・鉄鏃・ヤリカンナ・鉄斧、砥石などが発見され県の重要文化財に指定されました。これらのレプリカが作成されていましたがこのほど完成し、展示の運びとなりました。短甲は大和政権から権力を示す武具として与えられたものと考えられ、関東までしか出

## 古墳時代(西暦400年頃)からの伝言 短甲レプリカ完成披露会

2/3



1

2

3



4

① 除幕式 ② 解説会 ③ 解説頂いた高橋先生 ④ 短甲(胴部を覆った鎧)

土例がなく今回東北地方で初めての出土となりました。古墳時代中期に大和政権から武具をあたえられる豪族がいたことを示す大変貴重な資料と考えられています。



岡山県・倉敷市真備町／島根県・松江市

# 言葉を失う、豪雨災害の爪あと

議員全員による行政視察研修を1月15日から17日まで、倉敷市真備町及び島根県松江市で行いました。

昨年西日本豪雨災害で被災してから6カ月を過ぎた倉敷市真備町では災害の状況や防災について、松江市ではふるさと寄付金の活用方法等について研修を実施いたしました。

真備町の研修では、被災地の現状を把握することで、わが村において、災害発生時の議員の役割や、災害に備える活動について考える良い機会となりました。

また、松江市ではふるさと寄付金を様々な地域づくり事業に生かし、暮らしやすさ日本一の街を築いていることなど、今後の村づくりを進める上で貴重な研修となりました。



▲現地にてハザードマップを見ながら説明を聞く

日常を取り戻すまで

あきらめない

真備町の現状は・・・

- H30年7月5～8日の大雨により小田川等が氾濫。
- 世帯数8千947戸の内5千975戸(約67%)が被災、死者数51名、浸水面積1千200ha(全体の約27%)。
- 借上仮設住宅型決定数3千177件、建設型仮設住宅215戸、トレーラーハウス51戸。

○ボランティア受入数は6万6898人にのぼる。

■決壊個所の護岸工事、全壊住宅の取壊し、新築住宅工事を開始する方など復興の歩みは見られるが、柱と屋根だけになった住宅や、さう地となつている土地なども多く、本県で津波被害を受けた地域を思わせる情景が続き、胸が詰まる思いでありました。1日も早い地域の復興、心の復興をお祈りいたします。

担当者からの説明・・・

○警戒河川が数多く同時時間帯に災害発生があつたため、効率的な情報共有が困難だった。

○避難情報の伝達にも手を尽くしたが、逃げ遅れた方々も多く発生し、多くの高齢者が亡くなつてしまった。

○今までの概念にとらわれず、危険を自分で判断し、自ら避難すること、互いに声をかけ合う事が命を守ることに繋がります。



▲松江市役所内会議室・活発な意見交換が行われました

## 子どもも夢☆未来プロジェクト

### 松江市・ふるさと寄付金

## 地域ブランド産地育成事業等へ活用

#### 松江市の概要は・

○人口は約20万人、世帯数約8万9千世帯、面積は5百72km<sup>2</sup>で宍道湖を擁する観光の町として発展してきました。

○暮らしやすさ日本一、子育て環境全国3位、プログラミング言語「RUBY」のまちとしても有名で続々とIT企業がオフィスを開設しています。

#### ふるさと寄付金の状況は・

○H20年度からこれまでの合計額が約4億6千万円となっています。  
返礼品は地場産品を中心に取扱をしております。加は希望する業者を募集しております。

#### 地域に密着した事業を展開・

○ふるさと寄付金は、ふるさと「だんだん基金」に積立し、松江城石垣修理・河川や排水路の美化清掃・西条柿・玄丹そばなどの生産振興支援・学力向上支援・イングリッシュフェスティバル開催・クラシック音楽祭開催など様々な分野へ有効活用されてきました。

■多くの皆様に応援していただいた寄付金でありますので、本村でも、地域に喜ばれ、村の将来に繋がるような活用方法を検討して行くことの重要性を改めて感じました。

小松公雄 議員

備えが大切

四日間降り続いた大雨と、川底が屋根よりも高い天井井川と言う悪条件が重なって災害が大きくなったと思われる。

本村も大雨を想定し、被害を受けそうな地区を特定

して、防災訓練や避難訓練で防災意識を高め、排水ポンプや土嚢等の常設など、平時からの備えが重要と考えました。

小室重克 議員

制度を有効活用

松江市は、地場産品が豊富で返礼品に魅力を感じた。寄付の活用も宍道湖・中海を中心とした環境保全事業

など力を入れていく。

本村も、寄付者と村双方が良好な関係を保ちつつ魅力ある事業を展開する必要を感じた。

# 住民の



1テーマ4回掲載として10代～50代の村民の皆様から意見をいただきましたが、No130号から60代以降の方々からも意見をいただくことになり、1テーマ10回掲載となりました。



# 声こえ

(6回目 / 全10回)

## 第1回テーマ



## 「18歳選挙権」

おさだ のぶお  
長田 信夫 さん  
農業 54歳 大泉坊

+

| 議会のうごき     |  |
|------------|--|
| 11月21日～22日 | ・第62回町村議会議長全国大会(東京都)                                     |
| 23日        | ・中島村芸能発表会  |
| 30日        | ・議会運営委員会   |
| 12月 1日     | ・こどもの国の発表会(幼稚園)  |
| 5日         | ・圏域市町村長・議長会議(広域圏)  |
| 12月7日～12日  | ・第4回議会定例会  |
| 14日        | ・村商工会企業連絡協議会   |
| 26日        | ・白河地方広域市町村圏整備組合議会定例会(白河市)                                |
| 1月 5日      | ・村成人式  |
| 6日         | ・消防団出初式、安全祈願祭、新年祝賀会                                      |
| + 7日       | ・市町村長・市町村議会議長合同新年会(西郷村)                                  |
| 10日        | ・年始知事懇談会(福島市)  |
| 15日～17日    | ・議会議員行政視察研修(岡山県・島根県)                                     |
| 18日        | ・福島県町村議会議長会理事・監事合同会議(福島市)<br>・県南地方町村議会議長会連絡協議会(福島市)      |
| 23日        | ・棚倉・矢吹線道路整備促進期成同盟会要望活動                                   |
| 25日        | ・村商工会新年会員の集い   |
| 27日        | ・東京なかじま会総会(東京都)  |
| 2月 3日      | ・四穂田古墳レプリカ完成披露会  |
| 13日        | ・2月定例町村議会議長会(白河市)<br>・広域圏市町村長並びに代表議長会議<br>・白河地方土地開発公社理事会 |

第1回テーマは、「18歳選挙権」です。  
村民の方々に聞いてみました。

### 1 18歳選挙権をあなたはどのように思いますか。

18歳から政治に関心を持つのは良い事だと思います。1票の重み、投票行動の意義を十分に感じてほしいです。また、家族、地域が助言をし、見守ることが大事だと思います。投票率を上げる工夫も必要なのは。

### 2 村、議会に期待することを教えてください。

地域の後継者を作るのが大事だと思います。独身者への支援対策が人口減への一助になるはずで、均衡のとれた開発を中心ばかりでなく、外に向けてやってほしいです。また、空き家対策や集落営農への道筋を作るべきだと思います。村バスの定期巡回を充実していただければ、大変便利になり、村内の施設の利用率も上がるのではないのでしょうか。

### 3 自分の将来の夢・目標をお聞かせください。

スポーツを通して精神的にも健康な身体づくりをし、仲間づくりをして、若い人達とも一緒にやって行きたいです。そうすることによって、村内の定住にも役立てていければなと思います。

## 発行 中 島 村 議 会

〒961-0192 福島県中島村大字滑津字中島西11-1  
電話 0248-52-3486 FAX 0248-52-2449

中島村 × 🔍 検索 中島村→村議会

村のホームページから村議会情報を見ることができます